

登録コード:MH157400 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	統合実習【20M以降】 Unification Practice			
担当教員	五十嵐 久人 下里 誠二			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻4年生		不定期	集中・不定期
単位数、講義室	2単位			遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		各看護専門領域の実習を通して、既習の知識・理論・技術や、これまでの実習経験をもとに視野を広げ、総合的な看護能力を高めるとともに、実践を向上させる姿勢や態度を養う。	
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。		対象に応じた計画的な看護実践、チーム医療、他職種との協働の中での看護職者としてのメンバーシップ、リーダーシップについて学ぶことができる。	
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		これまでに修得した看護の基礎的・専門的知識および技能を統合し、対象者の健康状態や生活背景を総合的にアセスメントしたうえで、状況に応じた適切な看護を実践することができる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		看護実践上の疑問や課題に対して、既存の知識や根拠を活用しながら科学的に考察し、実践の妥当性を検討するとともに、より質の高い看護につなげる視点をもって判断することができる。	
	問題解決力 保健・医療・福祉の場で生じる多様な情報を、科学的・多角的に収集・評価・分析し、最新情報と科学的根拠に基づいて判断を行うとともに関係者に伝えることができる。		臨床場面において生じる複雑な健康課題や実践上の問題を多角的に捉え、優先順位を判断しながら、他職種との連携を含めた適切な対応策を立案・実践・評価することができる。	
	対人関係形成・協働力 保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションをとりながら適切な関係を形成し、看護専門職者として協働的に役割を担うことができる。		対象者および家族、看護職、他職種と良好な人間関係を構築し、それぞれの役割や専門性を理解したうえで、チームの一員として協働しながら看護を実践することができる。	
	プロフェッショナリズム 看護専門職者として生命を尊ぶ倫理観と責務・行動規範を身に付け、人々の健康と社会の発展に向けて省察的・自律的に行動することができる。		看護専門職としての自覚と責任をもち、倫理的配慮と安全管理を徹底しながら、自らの看護実践を省察し、継続的に実践能力の向上を図る姿勢をもって行動することができる。	
授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿、キャリア			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	既存の学習やこれまでの臨地実習で学修した内容を踏まえて、看護をより幅広い視野で捉え、さらに他職種との連携を取りながら、統合した看護能力や実践能力を向上させることを目的としています。 各専門領域の実習の中で、対象に応じた計画的な看護実践、チーム医療、他職種との協働の中での看護職種としてのメンバーシップ、リーダーシップについて学びます。また実習を通して看護を幅広く、深く理解することを通して、看護観を深めるるようにします。 本実習は、1年次からの授業や実習で学んだ知識や技術を統合し、臨床現場で看護を実践する能力を養うものとなります。 本授業は、担当教員の医療機関における医療従事者、地域における地域保健従事者としての実務経験を活かした実習を行います。			
授業計画	基礎看護学領域 多職種との連携を図りながらチーム医療の実際と多職種専門チームにおける看護師の役割やマネジメントを学ぶ。 多職種専門チームの院内ラウンドやカンファレンスに参加することで、各職種の活動や役割を理解し、チームで関わる利点を学ぶ。 多職種専門チームの目標、組織内での位置づけ、活動の評価方法、政策との関わりを理解し、その専門性を生かした看護実践を学ぶ。さらに、看護学会の参加等により、チーム医療の理解を深める。 成人看護学領域 臨床における多様な状況を捉え、患者・家族を中心とした看護を主体的に創造・実践する姿勢・態度を養うことを目的とし、事前グループワーク、病棟実習、多重課題に対するロールプレイを行う。病棟実習では、a)複数患者の受け持ちと優先順位を考慮した看護実践、b)看護師長やリーダー看護師による患者・看護師・病棟全体のマネジメント、c)日勤・夜勤帯における病棟の状況把握および患者への看護ケア、について学ぶ。 老年看護学領域 市民や複数領域の専門職者と協働しながら「地域包括ケア」を推進していくための課題を見だし、老年看護の実践を豊かにする専門的知識・技術・態度を涵養することを目的に、病院、介護保険施設、地域包括支援センター等をフィールドとして、a)施設見学、b)管理者を含めたスタッフのジョブ・シャドウ式体験見学、c)現場スタッフへのインタビューや話し合い、d)多職種連携による生活習慣病の予防啓発活動への参加、e)グループワークなどの方法で実習を行う。 小児発達看護学領域 入院している障害をもつ子ども（人）の健康問題、日常生活、発達過程やその特徴を理解			

授業計画	し、それらの支援の実際について見学・実践を通して学ぶ。また、権利擁護、多職種連携、在宅支援、支援体制・制度の実際や課題を検討する。主体的に学習を進展させ、特に関心のあるテーマについて学びをまとめグループで共有する。 母性看護学領域 助産師コース：一組の母子を受け持つ。受持ち母子の妊娠初期、中期、後期、分娩期、産褥期、新生児期、退院後1～4カ月の診察ならびに健康教育についてケーススタディとロールプレイを行ったうえで、受持ち可能な期間では直接ケアを実施する。 看護師コース：医学的ならびに社会的ハイリスク妊婦と新生児管理について、総合周産期センターと乳児院での母子の生活を通して学ぶ。高校生に対する性教育を企画、運営、実施、評価を行う。 精神看護学領域 北アルプス医療センターあづみ病院こころのホスピタルでは精神障害者に対する地域支援含め総合的に学ぶ。小諸高原病院の医療観察法病棟では司法精神医療でのプログラムと看護の役割、MDT(Multi Disciplinary Team)による他職種連携について学ぶ。さらに地域活動支援センター（燦メンタルクラブ）、生活介護・就労継続支援B型事業所（第二コムハウス・ゆい、ドリームワークス）、学校保健実習のいずれかで実習を行う。時期については8月下旬～9月中とする。 公衆衛生・在宅看護学領域 産業保健、学校保健、児童心理、難病、在宅療養などをテーマに人々の健康を幅広い視野で捉え、多職種連携による支援の実際、支援システムの構築などについて学ぶ。また、地域社会の健康課題や生活実態の把握とアセスメントを通して、地域の実情に応じた活動を実践する能力を養う。 各領域での実習終了時に授業アンケートを実施します。
授業の進め方	- 各領域に学生を配置する領域別実習を行います。従って、実習時期・実習目標・方法等は各領域で決定し実施します。 - 統合実習の学生配置は学生の希望を考慮して決定しています。
テキスト，教材，参考書	各学生は選考した領域の中で確認してください。
成績評価の方法	単位認定や評価方法、記録物、その他詳細については、実習する領域の中で確認してください。
成績評価の基準	● 評定については次の評価基準を基本としている。 - 秀 / S：授業の達成目標の水準から見て卓越している（90点以上） - 優 / A：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（80～89点） - 良 / B：授業の達成目標の水準よりやや上にある（70～79点） - 可 / C：授業の達成目標の水準にある（60～69点） - 不可 / D：授業の達成目標の水準よりやや下にある（50～59点） - 不可 / F：授業の達成目標の水準にない（0～49点）
事前事後学習の内容	選考した領域の中で確認してください。 本授業の単位取得には90時間の学習が必要です。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	選考した各領域の教員に相談してください。